

株式会社キャナル
オーガニックコットン事業紹介



Sign (サイン) の室内用帽子

オーガニックコットン100%の素材で肌あたりの良い素材のみを吟味し
厳しい生産基準をクリアした抗がん剤治療中などの方向けの帽子たち。
NOC (日本オーガニックコットン流通機構) 認定商品

Sign (サイン) の外出用帽子

オーガニックコットンや環境負荷の少ない素材のみで作った帽子たち。
優しい気持ちになるナチュラルな商品



医療用帽子



外出用帽子
HOMEグッズ



オーガニック
コットン紹介

どこがらがうの？ オーガニックコットンができるまで

従来の方法		オーガニックな方法
種を殺菌処理をする。土を殺菌処理をする。収穫量を増やすため化学肥料を大量に与える。	種の 植付け ▼ 発芽後 ▼ 成長期 ▼ 害虫駆除 ▼ 成熟期 ▼ 刈り取り ▼ 糸 ▼ 生地	土壌を健康に保つため種に殺菌処理をしない。土に殺菌処理をしない。堆肥など有機肥料を与える。 
雑草駆除のため除草剤を散布する。土の中の微生物が死んで働かないので、毒害なしでは、作物が育たない畑になる。		土の中の微生物が元気に働いている豊かな土は、少量の水で生育する。雨風その他自然の影響からバランスを保つためのきめ細かい管理が必要。 (手間をかける)
化学農薬を使用するため、土壌が荒れて、水を大量に吸わなくてはならない。大量の水は地中の塩分を導き出し、更に土壌は荒れる。調整のため化学薬剤を与える。		害虫の天敵である益虫を利用する。 (カマキリ、クモ、テントウムシ、クサカゲロウなど)
機械で刈り取るため、綿花の待たを揃える必要があり、皮着調整剤を与える。また刈り取りのために結露剤を空中散布して葉を枯らす。		水分の供給を止め、綿花の熟成を待つ。手摘みの場合は綿の葉を枯らす必要がない。
高速加工のため、化学補助剤を使う。漂白・染色など化学処理をする。		人手で一つひとつ摘む。 (手間をかける)
		低速でじっくり加工する。天然の補助剤を使う。化学処理をせず生成りのまま仕上げます。
		化学処理をせず生成りのまま仕上げます。



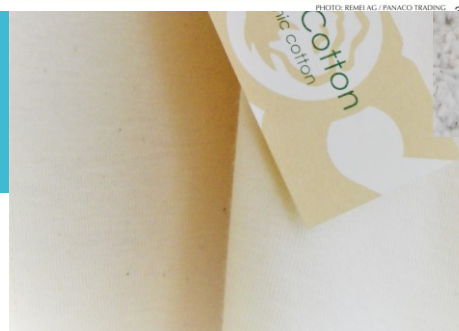
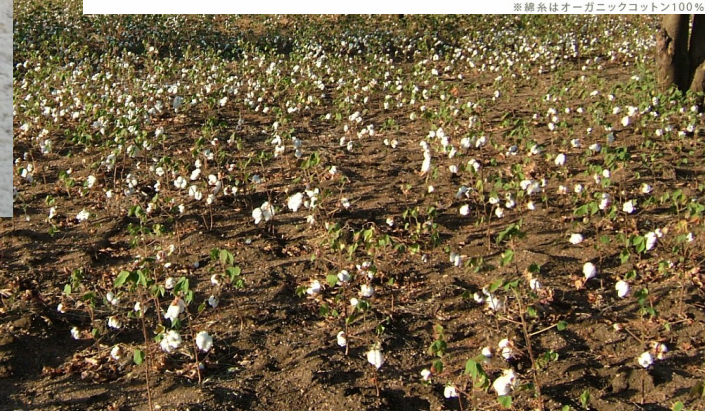
2 バルブ・抄紙工程
チップから繊維を取り出し
バルブ化、さらに
抄紙機にかけ紙へ



4 撚糸工程・糸の完成
細いテープ状になった紙を
こよりのように撚る

5 製織工程・布の完成
タテ糸に緯糸、ヨコ糸に
木の糸を使い布を織る

※綿糸はオーガニックコットン100%



① 有機農業のサポート / Organic farming



② 子どもの教育支援 / Education



③ 生産者や地域の人々の健康のためのインフラ整備 / Infrastructure



オーガニックコットン環境貢献②



貧困をなくそう

SDGs目標1.1

2030年までに、現在1日1.25ドル未満で生活する人々と定義されている極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる

フェアトレード精神ののった取引を行うことで、生産者の方々に適正な賃金をお支払いし、経済的なダメージを減らしてまいります

ジェンダー平等を実現しよう

SDGs目標5.1

あらゆる場所におけるすべての女性及び女子に対するあらゆる形態の差別を撤廃する

女性社長である私みずから積極的に活動することで、女性が活動できる範囲を増やし、また仲間を増やすことで、ジェンダー平等に貢献できるようまいります



すべての人に健康と福祉を

SDGs目標3.9

2030年までに、有害化学物質、ならびに大気、水質及び土壌の汚染による死亡及び疾病の件数を大幅に減少させる

農薬や殺虫剤等を使用しない栽培方法を選択することで、環境汚染や生産者の方々およびそのご家族の健康被害を減らしてまいります

SDGs目標3.5

麻薬乱用やアルコールの有害な摂取を含む、薬物乱用の防止・治療を強化する

生活のため、コカインの元となるコカの不法栽培からオーガニックコットン栽培へ切り替えた農家さんのコットンを積極的に使用し、継続的な支援をすることで世界に出回る麻薬の量を減らしてまいります



すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する

SDGs目標6.1

安全・安全な飲料水の 普遍的・衡平なアクセスを達成する

オーガニックコットン棉花購入費に、農村の自立支援プロジェクトへの支援金が含まれており、輸入先の1つタンザニアでは飲料用の井戸を作る資金に充てられています。これからも継続的に同プロジェクトへの支援を続けてまいります

働きがいも経済成長も

SDGs目標8.7

強制労働を根絶し、現代の奴隷制、人身売買を終らせるための緊急かつ効果的な措置の実施、最悪な形態の児童労働の禁止及び撲滅を確保する。2025年までに児童兵士の募集と使用を含むあらゆる形態の児童労働を撲滅する

フェアトレード精神ののった取引の実施、児童労働の禁止を条件とし、生産現場での児童労働や生産者の方々に対する経済搾取をなくすように努めてまいります



つくる責任 つかう責任

SDGs目標12.8

2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようになる

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



活動①

講演・ワークショップ





CANAL CO., LTD
Japan

Rotkreuz, 20. March 2018

Confirmation of donation

Dear Madam, dear Sir,

We as bioRe® Foundation Switzerland confirm that we have received your kind donation of USD 1'728.64 on 16.03.2018. Herewith, we would like to express our gratitude for your generous donation.

With this amount you are supporting the Khalakhet animation school, shallow well at Shinyanga Mwenge and 5 toilets in Kasrawad.

On behalf of all farmers and their families, we thank you very much for your support and your commitment.

Yours sincerely,

Christa Suter
CEO bioRe® Foundation

bioRe® Foundation
Lettenstrasse 9 | 6343 Rotkreuz | +41 41 798 32 32 | info@biorestiftung.ch | www.biore-foundation.ch

CANAL CO., LTD
Japan

Rotkreuz, 10. March. 2021

Confirmation of donation

Dear Madam, dear Sir,

We as bioRe® Foundation Switzerland confirm that we have received your kind donation of **USD 2'218.77** and would like to thank you very much.

With this amount you support the bioRe animation school in the Indian village of Khalakhet, the construction of 5 toilets in the Kasrawad region, India, and you participate in the construction of a water well for farming communities in Tanzania.

On behalf of the farmers and their families, we thank you very much for your ongoing support and your commitment.

Yours sincerely,

Xenia Ritter
Responsible for communication & fundraising,
bioRe® Foundation Switzerland

bioRe® Foundation
Lettenstrasse 9 | 6343 Rotkreuz | +41 41 798 32 32 | info@biorestiftung.ch | www.biore-foundation.ch



